

事業名	ごみ減量化推進費		
細事業名	その他事業経費(ごみ減量化推進費)	財務コード	634308
担当部課室	森林環境 部 森林環境総務 課 環境活動推進 担当 (内線)	6091	

事業の概要

実施期間	始期 S59 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(関東甲信越静環境美化推進連絡協議会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 県民	その対象をどのような状態にして ごみの散乱防止やリサイクルの必要性を理解し、実践している。	結果、何に結びつけるのか 循環型社会の実現 自主的な環境美化活動の促進
	<p>事業概要</p> <p>関東甲信越静環境美化推進連絡協議会への負担金の支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>負担金の割合 75千円</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>関東甲信越静環境活動推進連絡協議会での統一行動の実施 関東地方統一美化運動の日 5月30日 甲府駅前キャンペーン</li> <li>協議会作成の啓発物品使用に関する市町村への調査及び物品配布事務</li> <li>ごみ散乱防止と3Rを進めるためのポスター・標語コンテストへの参加 コンテストへの募集活動(県内小学校・中学校・高校・特別支援学校を対象) 協議会への推薦作品の選定</li> </ol> <p>関東甲信越静環境美化推進連絡協議会が実施している主な事業</p> <p>関東知事会を構成する府県のうち7都県が、地域の環境活動を総合的に推進するため協議会を組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ散乱防止と3Rを進めるためのポスター・標語コンテスト</li> <li>啓発物品の購入及び府県への発送</li> <li>関東地方統一美化運動</li> </ul>		
根拠法令等	関東甲信越静環境活動連絡協議会規約		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度		26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	目標値	
活動指標	コンテスト応募数						活動指標 目標設定の考え方 過去3年間の実績を参考 データの出典等 過去の応募作品数
	ポスター	697点	620点	577点	650点	700点	
	標語	3,417点	3,200点	3,042点	3,500点	3,000点	
	合計	4,114点	3,820点	3,619点	4,150点	3,700点	
活動指標達成率(実績値/目標値)			94.7 %				
成果指標	ごみ減量化のため、缶、ペットボトル等のリサイクルに取り組んでいる人の割合	95.8%	100%	95.3%	100%	100%	成果指標 目標設定の考え方 平成25年度「県政モニター廃棄物に関するアンケート」調査結果を踏まえて設定 データの出典等 平成25・26年度県政モニター廃棄物(ごみ)に関するアンケート結果
	ごみを減らすため買い物袋を持参、レジ袋を断る人の割合	93.9%	100%	97.2%	100%	100%	
	成果指標達成率(実績値/目標値)			%			
決算額又は予算額(千円)	75		75		75	75	成果指標によらない成果
うち一財額	75		75		75	75	
所要時間(直接分)	30 時間		30 時間		30 時間	30 時間	
所要時間(間接分)	100 時間		100 時間		100 時間	100 時間	
所要時間計	130 時間		130 時間		130 時間	130 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,048円×所要時間)	266		266		266	266	

これまでの事業の見直し・改善状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度に、協議会において組織、事業内容、負担金などの見直しについて検討を行い、負担金の減額を決定。(100千円→75千円)</li> <li>平成25年度において、事業内容、新規事業の検討を行っているが、特に見直しを行っていない。</li> <li>平成27年度の総会において、過去にこの協議会が実施した「ごみゼロの日」を契機に全国的に波及したことから、今後も広域で行うことの意義を理解し、新しい事業の取組について、引き続き検討を行うこととした。</li> </ul>
--

**活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)**

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率		
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率		廃棄物(ごみ)に関するアンケート及び県民意識調査の結果によると、ごみの減量化や3Rに対する意識は高いことから、ごみの散乱防止と3Rに関するポスター・標語コンテストは、一定の効果を上げていると考えられる。
	b	<p>県政モニター-廃棄物(ごみ)に関するアンケート結果</p> <p>「ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいる人の割合                  「取り組んでいる」「できるだけ」と回答 平成24年度 93.4% 平成26年度 95.3%</p> <p>「ごみ減量化のため、買い物袋をじさんしたり、レジ袋を断ったりしたことがある人の割合                  「ほぼ毎回」「やったことがある」と回答 平成24年度 94.4% 平成26年度 97.2%</p>

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

**見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	広域的に事業を行うことにより、事務量の軽減や事業の効率化が図られるが、活動内容が固定化していることから、平成28年度以降の事業について、事業内容の見直しや事務手続きの軽減化について検討する。	ad

・「以外の判断項目」の欄  
 a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託  
 i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

**見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	<p>関東甲信越静環境美化推進連絡協議会に対し、次の事項について問題提起を行う。</p> <p>事業内容の見直しについて                  お絵かき川柳コンテスト内容の見直し、選定作品のウェブ上での掲載                  事務手続きの軽減化</p>

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
 ・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること